

種 別 内 容	目標内容	取組内容	内容番号	第18-0001号	第19-0002号	第19-0003号	第19-0005号	第19-0007号	第19-0008号	第20-0001号	第20-0002号	第20-0003号	第20-0004号	第20-0005号	第20-0006号	第20-0007号	第20-0008号	第20-0012号	第21-0001号	第22-0001号	第22-0002号	第22-0003号	第24-0002号	第24-0004号	第24-0005号	第24-0006号	第25-0001号	第25-0002号	第25-0003号	第25-0004号	第25-0005号					
				綾南市商工 会	小田急厚沢 ガルフクラ ブ	興ワイ ゲー電子	南横浜製作 所	新加藤工務 店	興ラテン大 和	興相鉄バス	興マイコー	(株)東牧土 木	興ネエチア	興青柳商店	興山勝	興栄和産業	興タズミ	興コプラザ 統瀬	興KYOEI	興相野企業	興高乳業興	興川崎製作 所	興飯室商店	興かやせ電 気	興中電社	興かなしん オフセット	興武田商事興	興秋本食品興	興高尾豚手 造りハム	興南バシ ド・モンパ ル	興南矢部商店					
地球 環境 化 防 止 策 等 ⑤	自動車の適正使用 及び抑制、又は低 公害化する。①	アイドリングストップを実践する。	080901						△	○	○	◎		○	○					○																
		使用台数を減らす。	080902									◎																								
		使用抑制日を設定する。	080903																																	
		走行ルートを合理化する。	080904								○										◎															
		買換えの際には低公害車、低燃費車を導入する。	080905									○												○												
		新しい浮車等を低公害化する。	080906										◎	◎												◎										
		アイドリングストップ・アンダーステア装置のついたバスを導入する。	080907										◎																							
		ガソリンの使用量を把握し、削減する。	080908							△			◎											○												
		省エネ設備等を採用 又は改修する。②	灯油、LPG、LNG、都市ガス、重油を燃料としている燃料設備をエネル ギー消費効率のよいものに改修する。	081001		○																														
			複層ガラス、熱反射ガラスを採用する。	081002									◎																							
			電力平準化設備を採用する。	081003																																
			省エネ対応製品等 を購入又は更新す る。③	081101		○																														
		自然エネルギーを 活用又は新システ ム等を導入する。④	深夜電力利用機器を導入する。	081102		○																														
			水蓄熱システムを導入する。	081103		○																														
			部品の交換修理が可能な製品を保守・修理サービス期間の長い製品、機能状 態性の高い製品を購入する。	081104		○																														
エネルギー消費効率の高い製品を導入、更新する。	081105			○								◎																								
適正規模の機器を選択する。	081201																																			
太陽光発電等を導入する。	081202																																			
ガスコージェネレーションや燃料電池コージェネレーションを導入する。	081203																																			
ビルのエネルギー管理システムを導入する。	081301																																			
特定フロンを削減 又は温室効果ガス を排出抑制する。⑤	生産用フロン、冷却設備・空調設備の冷媒用フロンの削減又は全廃、ハロン 消火設備等の代替又は全廃を行う。		081302																																	
	特定フロンの回収・適正処理に取り組み、		081303																																	
	製造工程において、HFC、PFC、SF6をどれだけ使用し漏出している か把握し回収処理に取り組み、	081304																																		
	製造工程において可能な範囲でHFC、PFC、SF6をその他の物質に代 替する。	081305																																		
	HFC、PFC、SF6を使用しない製造工程に変更する。	081306																																		
	製品購入の際には、できるだけHFC、PFC、SF6を使用していない製 品を選ぶように配慮する。	081307																																		
	HFC、PFC、SF6を使用している製品を廃棄する際の回収に取り組 む。	081308																																		
特定フロン系エアゾール製品を導入する。	081309																																			
代替フロンを回収、再利用、破壊する。	081309																																			

- 高輝度誘導灯:通常の蛍光灯の代わりに、冷陰極蛍光ランプを使用した非常誘導灯
- ピークカット機能:電気の使いすぎを知らせ、使いすぎ時にはあらかじめ設定した エアコン等の回線を遮断し、不意の全停電を防止するもの
- 蓄熱式空調システム:割安な夜間電力を利用し、冷房時は冷水や氷を、暖房時は温水を蓄熱槽に蓄え、蓄えた熱エネルギーを昼間に使用して空調を行うシステム
- 潜熱回収型温水ボイラー:ガスボイラーの燃料ガスの排気ガス中の水蒸気が水に戻る時の熱(潜熱)を回収し、ボイラー給水の手熱に利用する温水ボイラー
- ヒートポンプシステム:低い温度の熱源から冷媒(熱を運ぶための媒体)を介して、熱を吸収することによって高い温度にする機器で暖房・給湯等に使用する。

登録番号 事業所名	取組の感想
第18-0001号 綾瀬市商工会	<p>事業所内のO A関連用品の使用量削減への取り組みやリサイクル品の使用により少しずつですが、環境負荷の削減に努力しております。節電については、本会の取り組み内容になっていませんが、使用しない部屋等の電気をこまめに切っています。</p> <p>会員に対し、アルミ缶とプルタブ、ペットボトルキャップの収集協力を依頼しております。また、広報により企業のみならず市民の皆様もアルミ缶とプルタブを商工会館に持ち寄っていただけるようになりました。ペットボトルのキャップの回収は、エコキャップ推進協会へ提出いたしております。</p> <p>また、会館内に設置した自動販売機は、緑の募金に対応しており、当会並びに自動販売機設置業者が寄付しています。</p> <p>しかしながら、事務所で使っているプリンターメーカーは、リサイクルでなく純正トナーの使用を推奨しており、保証期間内でも純正品を使用していない場合は保証対象外との見解で、リサイクル品が使いにくい現状にある。</p>
第19-0002号 小田急藤沢ゴルフクラブ	<p>照明器具LED化の段階的な実施、電力使用状況の監視や使用先のこまめな調整により需要電力量削減に努めております。ゴルフ場特有として芝生・落ち葉などを堆肥化し、コース散布に使用しております。また、エコキャップ運動も5年を迎えまして、お客様や社員皆様協力のもと、毎年の提出が継続しております。</p> <p>今年度も、環境負荷の少ないゴルフ場を目指してまいります。</p>
第19-0003号 (株)ワイ・ケー電子	<p>省エネ活動、廃棄物削減活動、リサイクル運動等、社員一人ひとりの意識が向上して成果を上げることが出来ました。また、5S活動と環境負荷低減を合わせて、在庫削減、廃棄物削減が出来ました。社会貢献活動にも積極的に参加し地域と密着した活動ができました。</p>
第19-0005号 (株)横浜製作所	<p>廃棄物については、分別を間違いやすい廃棄物容器に写真による「見える化」を図ったことから、正しく分別されるようになりました。電気の使用量削減については、1時間あたりの使用量目標を達成。今年度も設備について、環境負荷が少ないコンプレッサーを検討、導入したことにより、省エネ、オйлレス、騒音規制対象から除外されました。</p> <p>本来業務の作業改善も取組み検討中です。引き続き環境負荷の低減に努めていきます。</p>
第19-0007号 (株)加藤工務店	<p>分別場所を定め、社内では浸透してきましたが、出入りの業者への促しがまだまだ徹底されていない部分があり、難しいと感じている。</p>
第19-0008号 (株)ラテン大和	<p>まだまだ探せば、エコに繋がることはあると思うが、現状目標としていることも完全に出来ず、広げることが困難です。</p> <p>欲張らず、まずは目の前の「未達成」から再チャレンジしていきます。</p>
第20-0001号 相鉄バス(株)	<p>平成25年度は、省エネを推進し環境負荷を低減させるため、危険物（潤滑油）屋内貯蔵庫内の照明をLEDに代替いたしました。</p> <p>また、平成26年度における車両の代替計画はありませんが、引き続き、低公害高燃費アイドルングストップ車、更には、排ガスのクリーン化に役立つ尿素バスの導入を推進するため、平成27年度以降では車両の代替を計画しております。</p>
第20-0002号 (株)メイコー	<p>昨年度は、大規模な省エネ機器の入替・改造等の環境予算を捻出できなかったため、使用薬品の低減や工業用水削減をメインとして活動を実践しました。併せて経年継続している内容についても継続実施を図り、記録的猛暑に昨夏においても、電気使用量等エネルギー使用量は微増でとどめました。</p> <p>空調新冷媒変更による効率向上を検討していく予定です。</p>

<p>第20-0003号 株東牧土木</p>	<p>目標としている取組みは日常的になっております。 また、今期は現場用に新しい車4 t Dを購入しました。車両の代替えは課題になっていたもので、やっと実践できました。 今後も引き続き、環境負荷の低減に努めていきます。</p>
<p>第20-0004号 株ネエチア</p>	<p>平成25年度は間接的に環境負荷を減らす事を目的として、運用管理の徹底・安全運転の教育・円滑な業務遂行等の充実を図る為に社用車管理規定の見直しを行いました。 運用管理においては、部門毎に管理責任者を設けその職務をより明確にしました。安全運転教育においては、ドライバー適正診断の実施や大和警察署管内安全運転管理者会主催の自動車安全運転競技大会に参加しました。円滑な業務の遂行においては、運転日誌の見直しを行い管理責任者が職員の運転状況を把握する時に役立てています。 また、適切な事故処理及び事故防止、交通安全に関する指導教育に資することを目的に、全社用車にドライブレコーダーを設置しました。 次年度は、概ね昨年と同程度の省エネ活動を引き続き実施いたします。今年度の取り組みは、かような内容となっております。</p>
<p>第20-0005号 街青柳商店</p>	<p>得意先の空缶空ビン等は訪問の都度回収して週2回綾瀬市リサイクル協同組合に依頼をして清掃に務めて居り環境には気を使っている。 電気の使用料が少なくて済む自販機に順次とり替えを行っている。又各自のガソリン使用毎月の一覧表を作って努力をして居る。</p>
<p>第20-0006号 株山勝</p>	<p>当社はISO14001の取組みの中で燃料使用量の削減や工場設備の電気使用量の削減を恒常的に取り組んでいる。 今回も前年同様電気使用量や燃料使用量は「削減」の結果となった。これは省エネ対策としての企業努力というよりも製造業の景気低迷による工場稼働の縮小並びに運搬量の減少に起因するものと判断している。</p>
<p>第20-0007号 株栄和産業</p>	<p>「あやせエコっと21」を通じてコストの削減、リサイクル化、節電を考える取組みを始めてから5年が経ち社内ではエコ活動が定着して成果も挙がっています。 今年度は地球環境保全の知識を周知し、エコ活動に対する意識をさらに高めていこうと思います。</p>
<p>第20-0008号 株タズミ</p>	<p>平成25年度も継続して、焼却されていた廃棄物の燃料化を推進し、自治体からの一般廃棄物・産業廃棄物や食品系製造事業所からの産業廃棄物等の燃料化を推進し、平成25年度は9,846トン燃料として販売、利用された。 また、環境負荷低減(地球温暖化防止対策等)の取り組みとしては、エコドライブによる燃費向上策は継続的に実施し効果を維持するとともに、工場部門では整備保全や原料の調合の工夫により、生産性を大幅に改善し、使用した電力や水は、原単位で大幅に減少させることができた。 さらに事務用品については、環境負荷の少ない製品(グリーン購入品など)の購入に努めた。</p>
<p>第20-0012号 エコプラザ綾瀬</p>	<p>6年目になり、取組が定着してきました。</p>
<p>第21-0001号 株KYOEI</p>	<p>毎年同じ目標を掲げて取り組んでいますが、「エコ」「節電」という言葉や文字をテレビや街中で聞いたり見かけたりすることが多く、目標として掲げなくても自主的に取り組んでおり、個々で考え行動していた1年でした。 次年度も同じ目標になりますが、結果を出せるように取り組みたいと思います。</p>

<p>第22-0001号 株紺野企業</p>	<p>今般、行った取組として、例年どおり敷地内の緑化にゴーヤとサンパチェンスと一緒に植えるグリーンカーテンにより、さらなるCO2削減を行ったことと、新規施設として機械選別施設を設置し金属くず（スチール缶、アルミ缶）、PETボトル、ガラス瓶等の選別を開始しました。カーボンオフセットも導入し受入れ廃棄物に対してオフセット（相殺）していくことを採用しております。</p> <p>当事業所では、継続的に行われているエコアクション21の環境活動の中で主に燃料使用量の削減や工場設備の電気使用量の削減並びに排出抑制のための紙の使用量の抑制に取り組んでまいりました。</p> <p>燃料使用量に関しては、車両の増車に伴う低公害車、低燃費車の導入を行い、ガソリン使用量の削減に努めてまいりました。</p> <p>工場設備の工場、倉庫の増設に伴い電気使用量を削減をするためスマートメーターの導入とミスト噴霧器を導入し周囲の気温を低減する取組、使用量の把握とともに削減を継続的に行っています。紙の使用量の排出抑制をするために使用済みの用紙の裏紙使用。両面印刷の徹底を継続的に行っています。</p>
<p>第22-0002号 株横浜乳業</p>	<p>エネルギー使用量削減の取組みで電気、燃料、用水の原単位削減を目指し、各職場で削減目標値を設定し活動を行ってきました。製造品種、製造量の変化により削減実績値が減り、目標を達成できない月もあり、職場にフィードバックをして削減に取り組んでまいりました。今後も蒸気、水漏れ等は早期に修理はもちろんの事、製造量に合わせたエネルギー管理を行い、無駄の無いエネルギー供給に努めてまいります。廃棄物に関しても、分別の徹底とリサイクル化を推進し、廃棄物発生量を抑制し続けていきます。</p>
<p>第22-0003号 株川崎製作所</p>	<p>節電意識が浸透し、部分消灯の徹底ができています。</p> <p>事務所の照明はLEDに変更。今後は工場内の水銀灯のLED化を行っていききたい。</p>
<p>第24-0002号 株飯室商店</p>	<p>『ルールだからごみにしない』の受け身ではなく、『資源だから分別』と積極的に取組めるようになっていきます。</p> <p>事務所壁面緑化のゴーヤは、目に涼しく、体感温度も3度ほど涼しく、皆でおいしくいただきました。また『みどりのカーテンコンテスト（主催：あやせ環境ネットワーク）』では、市長賞をいただきました。</p>
<p>第24-0004号 株あやせ電気</p>	<p>従来より環境意識には注意をはらっていましたが、今回「エコ21」の取組を実施して、よりいっそう、節水などに努力します。</p>
<p>第24-0005号 株中電社</p>	<p>事業活動を通して環境に配慮出来るものが沢山あることがわかりました。</p> <p>消費電力の多い事業所に対しては、省エネによる経済性や経費削減等を具体的に提案する事で、環境配慮を踏まえた設備提案を受け入れて頂いております。事業所の意識が高くなっていると同時に結果として、CO2削減の、ほんの微かな一端を担うことが出来たと思います。</p> <p>一般社団法人綾瀬市建設業協会を通じて、ペットボトルのエコキャップを回収し途上国にワクチンを贈ることが出来ました。今後も継続して参ります。</p>
<p>第24-0006号 株かなしんオフセット</p>	<p>全社員が、紙の使用量削減の取組を行っております。</p> <p>活動内容としては、報告書作成の見直しや、FAX連絡から電話連絡への変更、断裁加工した紙の再利用などを行いました。</p>
<p>第25-0001号 株武田商事</p>	<p>省エネ、省資源は環境のみならず、経営（コスト）にも優しいと感じます。今後も、取り組みの精度を上げる様努力していききたい。</p>
<p>第25-0002号 株秋本食品</p>	<p>当社はISO9001、14001の認証工場であり、社員全員にISO教育を行っています。製造工程で出る野菜残さも、排出時に水切りをし、発生抑制に取り組んでいる。</p>

第25-0003号 株高座豚手造りハム	日頃から意識をしていないと、中々難しいと感じました。
第25-0004号 有パレト・モンパル	自分達で出来ることを一生懸命やっています。
第25-0005号 有矢部商店	「あやせエコっと21」事業所編をきっかけに、意識を変えてエコに取り組めました。 今まで見逃していたこともエコにつながる方法は何か？と考えることができました。引き続きその意識をもって行動していきたいと思います。